よねだ ところどころ

ヨナダーが下米田・牧野の色々な見どころを紹介するよ

第二十号

下米田小学校の変遷

小学校の場所の変遷を探る

地域にとって、小学校は精神的な役割を含めて大変重要な施設である。特に子供のころの思い出や地域の同級生との付き合いは一生の思い出となる。何を習ったかは忘れたが、何を友達としたかは明瞭に覚えているものである。

下米田の小学校は現在**西脇の坪ノ内**という場所にあるが、この約百年間で場所の変遷がみられる。

下米田小学校に保存されている資料から、その変遷を見てみる。

明治六年二月七日　川辺福島に**文明義校**設置

＊注　津田左右吉先生はこの学校に通学した

明治十五年七月　則光村字清友に**文明支校**が設置

明治十七年一月　**文明小学校**と称す

明治十九年十一月　改革で**則光尋常小学校**となる

明治二十六年三月　**下米田尋常小学校**と改称

明治三十五年九月　**清友校舎を西脇坪ノ内に移転**

昭和十六年四月　国民学校となり**下米田小学校**と改称

＊注　左上写真は現在の市立下米田小学校

太平洋戦争後、一時期中学校を併設するが、昭和三十七年東中学校として統合された。

この変遷から考えると、下米田小学校の前身は、明治十五年に、**清友に設置された文明支校**となる。この清友という地名は、最も分かりにくい地名である。一見して人名由来の地名のようにもみられる。しかし、「信友」や「則光」のように大きな字（名田のような）ではない。さらに、この「清友」は大字と大字との境界にあり、開発が遅れたところで、水田用の水回りが悪い場所である。上図右の地図におおよその則光尋常小学校の位置を推定したが、正確な位置をご存知の方がいらっしゃればお教え願えれば幸いです。